



雪印メグミルク

2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2018年8月9日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 2270 URL <http://www.meg-snow.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 啓治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 渡辺 滋 TEL 03-3226-2124
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	150,984	0.8	4,757	△18.0	5,046	△17.7	3,379	1.6
2018年3月期第1四半期	149,860	1.5	5,804	10.8	6,127	17.8	3,326	△5.5

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 3,335百万円 (△14.3%) 2018年3月期第1四半期 3,891百万円 (15.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	49.83	—
2018年3月期第1四半期	49.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	355,941	158,209	43.8	2,297.64
2018年3月期	351,240	157,338	44.1	2,286.11

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 155,800百万円 2018年3月期 155,021百万円

(注) 2019年3月期第1四半期の期首より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を適用しており、2018年3月期については遡及適用後の数値を記載しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	308,000	1.5	9,700	△12.4	10,000	△15.1	7,100	△1.2	104.71
通期	605,000	1.5	19,000	△1.9	20,000	△4.7	13,500	0.9	199.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	70,751,855株	2018年3月期	70,751,855株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	2,942,761株	2018年3月期	2,941,743株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	67,809,524株	2018年3月期1Q	67,831,606株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、景気は緩やかに回復しており、今後もその継続が期待される一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場を中心とした不安定な状況に対する懸念があります。

個人消費は雇用・所得環境が改善する中で持ち直しておりますが、節約の動きも継続して見られます。食品業界においては、コストの上昇を価格に転嫁する動きも見られるほか、機能や低価格をそれぞれ訴求した商品の投入も見られるなど、消費者の価値観が多様化する中で様々な需要が生まれております。

このような経営環境下、当社グループは「グループ中期経営計画2019」に基づき、収益基盤の複数化およびキャッシュ・フローの最大化に取り組み、機能性ヨーグルトなどの高付加価値商品およびチーズなどの主力商品の販売拡大に伴うプロダクトミックスの改善、ならびにニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模の拡大など、将来の成長に向けた収益基盤の強化等に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高は150,984百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は4,757百万円（前年同期比18.0%減）、経常利益は5,046百万円（前年同期比17.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,379百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、ルナ物産株式会社は重要性が増したため、持分法適用関連会社としております。

セグメントごとの当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

① 乳製品

当セグメントには、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、ニュートリション事業（機能性食品、粉ミルク等）等の製造・販売が含まれております。

売上高は58,125百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は2,871百万円（前年同期比5.1%減）となりました。

売上高は、バターは安定供給に引き続き取り組む中で堅調に推移しましたが、当社は2018年3月より家庭用のマーガリン類・ショートニングのすべての商品で、トランス脂肪酸を多く含む部分水素添加油脂を使用しない配合を実現しており、今後もトランス脂肪酸を低減する取り組みを進めてまいります。チーズは国内乳資源の安定的な確保および有効活用のために、需給を踏まえたプロダクトミックスの改善に取り組んだことなどから減少しました。機能性食品は特定保健用食品の毎日骨ケアMBPがマーケティング投資の継続により伸長しました。これらの結果、当セグメント全体では微減収となりました。

営業利益は、プロダクトミックスの改善、および価格改定・容量変更の実施に伴う販売単価差が増益要因であったものの、乳価改定の影響もあり原材料コスト等が増加したことから減益となりました。

② 飲料・デザート類

当セグメントには、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。

売上高は71,439百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は922百万円（前年同期比50.3%減）となりました。

売上高は、ヨーグルトは機能性表示食品として新発売した「恵 megumi ガセリ菌SP株ヨーグルト ドリンクタイプ ベリーミックス」や、特定保健用食品としてリニューアル発売した「恵 megumi ガセリ菌SP株ヨーグルト」などの当社保有の乳酸菌「ガセリ菌SP株」の機能訴求のためのプロモーション活動を強化したことなどから好調に推移しました。飲料は市場低迷の影響もあり減少しました。デザートは新商品およびリニューアル品が牽引したことなどから堅調に推移しました。これらの結果、当セグメント全体では増収となりました。

営業利益は、機能性ヨーグルトの販売が拡大したものの、積極的なプロモーション活動に伴い宣伝促進費が大きく増加したこと、オペレーションコストが増加したこと、減価償却費が増加したことなどから大幅な減益となりました。

③ 飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売が含まれております。

売上高は12,296百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は696百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間は、配合飼料の販売価格上昇等により売上増となった一方で、牧草・飼料作物種子の売上減、および配合飼料原価の上昇などの影響により増収減益となりました。

④ その他

当セグメントには、不動産賃貸、共同配送センター事業等が含まれております。

売上高は9,123百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益は232百万円(前年同期比63.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の期首より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

なお、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

① 資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して4,700百万円の増加となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金や商品及び製品が増加した一方で、現金及び預金や繰延税金資産が減少したことなどによります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して3,830百万円の増加となりました。

これは主に、電子記録債務やその他に含まれる固定資産取得支払手形が増加した一方で、賞与引当金が減少したことなどによります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して870百万円の増加となりました。

これは主に、利益剰余金が増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、12,030百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,041百万円の収入(前年同期は1,351百万円の収入)となりました。

前年同期との比較では、主にたな卸資産の増減額が減少したことなどにより、1,689百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,269百万円の支出(前年同期は3,636百万円の支出)となりました。

前年同期との比較では、主に有形及び無形固定資産の売却による収入が減少した一方で、有形及び無形固定資産の取得による支出が減少したことなどにより、1,367百万円の支出減となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,749百万円の支出(前年同期は3,233百万円の支出)となりました。

前年同期との比較では、主に短期借入金の純増減額の増加や、長期借入金の返済による支出の減少などにより、484百万円の支出減となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月10日の決算短信で公表した業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,620	12,591
受取手形及び売掛金	69,302	75,906
商品及び製品	39,632	40,823
仕掛品	1,423	1,608
原材料及び貯蔵品	12,857	12,548
その他	4,694	4,636
貸倒引当金	△405	△418
流動資産合計	142,125	147,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,039	47,516
機械装置及び運搬具(純額)	56,095	55,870
土地	50,396	50,373
その他(純額)	10,262	10,864
有形固定資産合計	164,794	164,623
無形固定資産	3,921	3,614
投資その他の資産		
投資有価証券	29,326	29,721
繰延税金資産	4,859	4,022
その他	6,817	6,655
貸倒引当金	△604	△393
投資その他の資産合計	40,398	40,006
固定資産合計	209,114	208,244
資産合計	351,240	355,941

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,475	61,680
電子記録債務	4,021	5,739
短期借入金	41,827	42,111
未払法人税等	2,259	737
賞与引当金	5,208	2,741
その他	26,878	31,509
流動負債合計	140,670	144,519
固定負債		
長期借入金	27,089	26,888
繰延税金負債	651	663
再評価に係る繰延税金負債	3,981	3,975
役員退職慰労引当金	20	20
ギフト券引換引当金	190	187
退職給付に係る負債	8,667	8,780
資産除去債務	1,699	1,719
その他	10,932	10,978
固定負債合計	53,231	53,212
負債合計	193,901	197,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,585	17,585
利益剰余金	108,186	109,121
自己株式	△4,643	△4,646
株主資本合計	141,128	142,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,322	6,355
繰延ヘッジ損益	△163	△124
土地再評価差額金	8,951	8,937
為替換算調整勘定	382	123
退職給付に係る調整累計額	△1,600	△1,552
その他の包括利益累計額合計	13,892	13,739
非支配株主持分	2,317	2,408
純資産合計	157,338	158,209
負債純資産合計	351,240	355,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	149,860	150,984
売上原価	112,373	113,935
売上総利益	37,486	37,049
販売費及び一般管理費	31,682	32,291
営業利益	5,804	4,757
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	158	158
持分法による投資利益	126	187
その他	340	194
営業外収益合計	631	544
営業外費用		
支払利息	138	122
その他	168	133
営業外費用合計	307	256
経常利益	6,127	5,046
特別利益		
固定資産売却益	8	12
その他	9	6
特別利益合計	17	18
特別損失		
固定資産売却損	84	0
固定資産除却損	258	149
減損損失	45	22
その他	20	12
特別損失合計	408	184
税金等調整前四半期純利益	5,737	4,880
法人税等	2,389	1,410
四半期純利益	3,347	3,469
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	90
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,326	3,379

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	3,347	3,469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	448	33
繰延ヘッジ損益	10	39
為替換算調整勘定	58	△259
退職給付に係る調整額	22	47
持分法適用会社に対する持分相当額	3	4
その他の包括利益合計	543	△134
四半期包括利益	3,891	3,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,866	3,241
非支配株主に係る四半期包括利益	24	93

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,737	4,880
減価償却費	3,741	3,857
減損損失	45	22
持分法による投資損益(△は益)	△126	△187
貸倒引当金の増減額(△は減少)	48	△197
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,463	△2,465
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△180	△202
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	151	45
ギフト券引換引当金の増減額(△は減少)	△4	△3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△117	—
固定資産除売却損益(△は益)	335	137
受取利息及び受取配当金	△163	△162
支払利息	138	122
売上債権の増減額(△は増加)	△5,541	△6,681
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,352	△1,135
仕入債務の増減額(△は減少)	3,086	2,968
その他	1,332	3,739
小計	3,666	4,737
利息及び配当金の受取額	237	218
利息の支払額	△116	△104
法人税等の支払額	△2,435	△1,809
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,351	3,041
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22	△22
定期預金の払戻による収入	190	5
貸付けによる支出	△199	△28
貸付金の回収による収入	200	29
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,172	△2,317
有形及び無形固定資産の売却による収入	360	64
投資有価証券の取得による支出	△4	△5
投資有価証券の売却による収入	11	—
その他	△0	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,636	△2,269
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	68	316
長期借入金の返済による支出	△343	△233
自己株式の取得による支出	△2	△3
配当金の支払額	△2,571	△2,651
非支配株主への配当金の支払額	△0	△2
その他	△383	△174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,233	△2,749
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	△68
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,493	△2,045
現金及び現金同等物の期首残高	15,940	14,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,447	12,030

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	58,265	70,656	12,211	141,132	8,727	149,860	—	149,860
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,445	8	230	3,684	3,111	6,796	△6,796	—
計	61,711	70,665	12,441	144,817	11,838	156,656	△6,796	149,860
セグメント利益	3,025	1,855	758	5,639	142	5,781	23	5,804

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び共同配送センター事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 23百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	58,125	71,439	12,296	141,861	9,123	150,984	—	150,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,285	10	219	3,514	3,169	6,683	△6,683	—
計	61,410	71,449	12,515	145,375	12,292	157,668	△6,683	150,984
セグメント利益	2,871	922	696	4,490	232	4,722	34	4,757

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び共同配送センター事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 34百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。